

海技教育財団の主な事業内容

海技教育に対する支援

- ・海技教育機構の認知広報
- ・学生等募集支援
- ・海技教育内容の改善、環境整備
- ・学生等の福利厚生支援



海技教育機関の学生に対する学資の貸与等

- ・奨学金の貸与及び支給
- ・入学準備金の貸与
- ・成績優秀者への表彰



帆船利用等による一般市民、企業、団体等への海事思想の普及

- ・帆船海王丸を活用した体験航海、海洋教室の実施
- ・練習船見学会への支援



航海訓練の用に供する船舶の保有及び貸与

- ・帆船海王丸の保有・管理
- ・（独）海技教育機構への貸与



収益事業

- ・練習帆船の寄港地での物品販売
- ・ネットショップ「帆船グッズ」の運営



* 収益は海技教育に対する支援などにあてています。

「ゆっくり海技チャンネル」
船の仕事や船の学校をれいむとまりさが
ゆっくり解説
入試情報や体験航海の情報も随時更新中！



「船の学校バーチャル見学サイト」
Web上で海上技術短期大学校の中の様子を
ご覧になれます。



賛助会員

海技教育の振興を図るため、本財団の趣意にご賛同して下さる方々を募集しております。

1. 一般賛助会員：年額1口 5,000円
2. 団体賛助会員：年額1口 30,000円



公益財団法人 海技教育財団



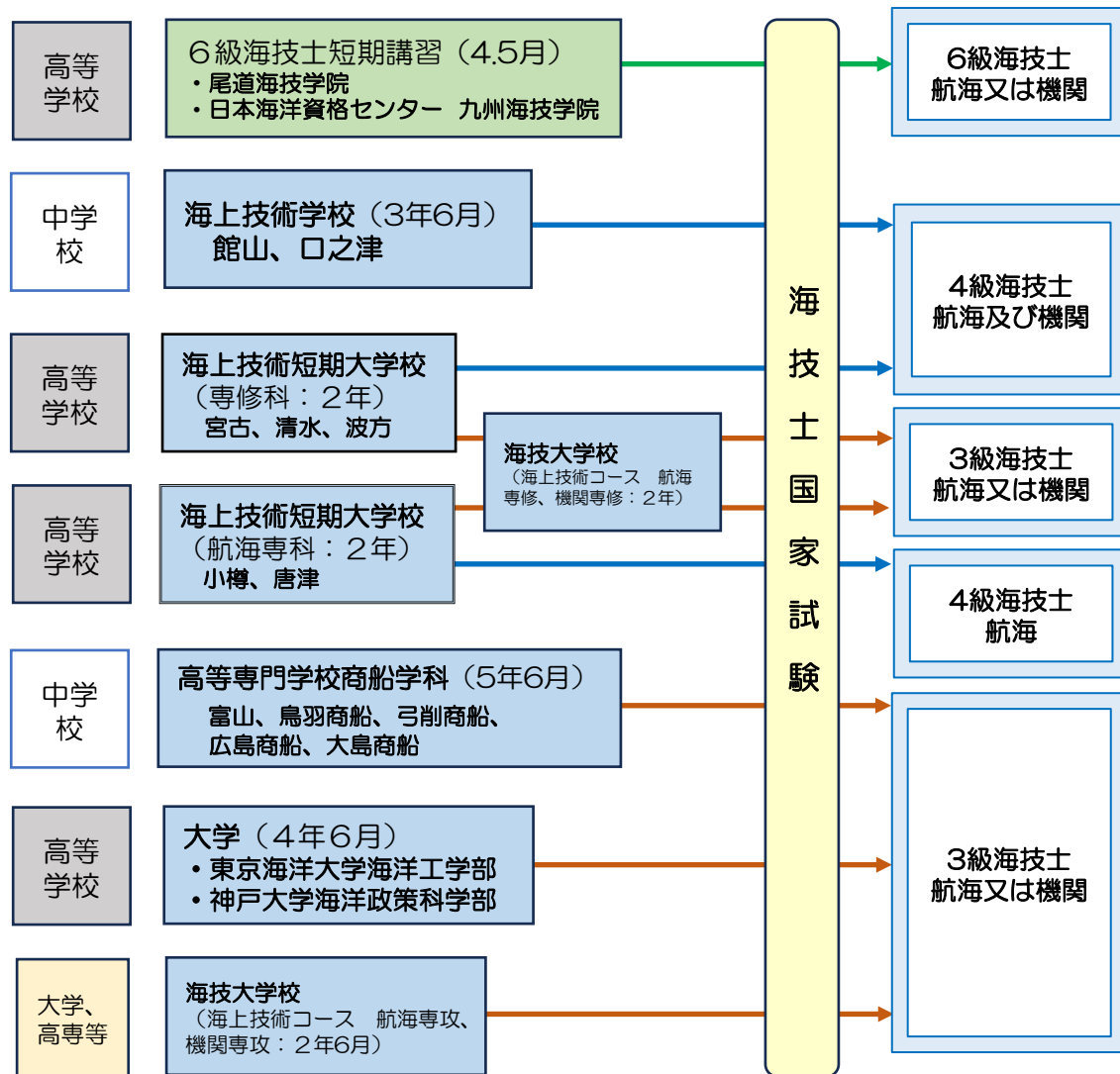
帆船「海王丸」

- 船舶所有者：公益財団法人 海技教育財団
- 船籍：東京 ○竣工：1989（平成元）年9月12日
- 全長：110.09m ○幅：13.8m ○マストの高さ：海面上約50m
- 主機関：ディーゼル（2基×1,500馬力）○航海速度：14.09ノット
- 搭載人員：199名（うち、実習生108名）
- 帆をはった様子から「海の貴婦人」と呼ばれています。

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル8階
Tel.03-3288-0991 Fax.03-3288-0992
E-mail.ship@macf.jp URL. https://macf.jp



大型船の資格が取得できる学校と学費を支援する海技教育財団の奨学制度



- 1 緑色の学校については、入学時に最大120万円の無利子の奨学金の貸与を受けることができます。
 - 2 水色の学校については、入学時に最大50万円の無利子の入学準備金の貸与を受けられ、また、修業期間中、毎月、最大6万円（高等専門学校の1～3年生及び海上技術学校は最大4万円）の無利子の奨学金の貸与を受けることができます。
 - 3 海上技術短期大学校については、これらに加え、特待生に対する給付奨学金や経済的理由により極めて修学が困難な者に対する給付奨学金もあります。
- 詳しくは右にあります、海技教育財団奨学金サイトをご覧ください。



内航船や外航船の
船長、航海士、
機関長、機関士
として就業



船や船員の仕事、船の資格が取得できる学校の情報などは、関係団体の公式サイトをご覧ください。

【外航船】
日本船主協会



【内航船】
日本内航海運組合
総連合会



【海上技術短期
大学校等】
海技教育機構



船の役割と船員の仕事

日本の輸出入の99%以上を船（外航船）で輸送しています。

また、国内貨物の輸送活動量に占める船（内航船）の割合は約40%に及んでおり、石油製品など私達の暮らしや産業に必要な物資や離島の人々も運んでいます。海上輸送は、輸送に必要なエネルギーや、排出される二酸化炭素がトラックと比べて極めて少なく、地球環境にやさしい輸送機関です。

内航船では、3ヶ月くらい乗船すると約1ヶ月のまとまった休暇がもらえます。船員用の船室は個室で陸上産業より給料が1.4倍程度高いなど魅力的な職場です。また、近年では、女性活躍推進のための取り組みや船員の働き方改革、自動運航船の実用化に向けた取り組みが進められており、職場環境の改善が図られています。

海運界では、資格をもった人材を求めており、活躍が期待されている仕事です。

国内外で活躍する様々な船

衣類や電化製品などを運ぶ
コンテナ船



原油や石油製品を運ぶ
タンカー



天然ガスを超低温で液化して運ぶ
LNG船



自動車やトラックを運ぶ
自動車専用船



鉄鋼、食料、衣類などを運ぶ
一般貨物船



貨物を積んだトラックなどが
乗り入れできる RORO船

